



平成 24 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 御 園 座
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 長 谷 川 栄 胤
(コード番号：9664 名証第 2 部)
問 合 せ 先 取 締 役 総 務 人 事 部 長 宮 崎 敏 明
(TEL：052-222-8201)

「御園座会館」再開発計画に係る環境影響評価方法書提出のお知らせ

当社は、平成 23 年 8 月 12 日公表の「御園座会館再開発の協議開始に関するお知らせ」にてお伝えいたしましたとおり、御園座会館の再開発に関して積水ハウス株式会社他各関係者と協議を継続してまいりました。このたび本計画の概要が固まり、名古屋市環境影響評価条例第 9 条 1 項に定められた環境影響評価（環境アセスメント）方法書を提出いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 背景

現在、当社がその中核的な事業拠点として劇場「御園座」を構える御園座会館は、昭和 38 年の完成以来、名古屋市民をはじめ、多くの方々に親しまれてまいりました。しかしながら、建設からすでに 50 年近くが経過しており、経年による各種設備の老朽化や集客力の低下が生じております。このような状況を受け、当社は御園座会館の再開発を決断し、その実現に向け各関係者との協議を行ってまいりました。

このたび本計画の概要が以下のとおり固まりましたのでお知らせいたします。本計画の実現により、当社は地域における快適なまちづくりの一翼を担うとともに、引き続き地域の皆様に魅力ある伝統芸能に接する機会をご提供していけるよう、益々努力してまいりますので、なにとぞ、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 本計画の整備方針

現在の御園座会館を解体し、一部周辺敷地を含め、新たな機能を備えた劇場に生まれ変わり、上層階には高品質な共同住宅を併設することで、都心居住のニーズにこたえる施設とします。これを実現することによって、周辺人口を増やし、かつてのにぎわいある伏見地区を再生することを目的としております。計画の基本方針は以下のとおりです。

- ・ 道路に接する敷地周辺には歩行者のための空地を確保し、緑を配した憩いのある都市環境とします。
- ・ 施設内には、劇場・店舗等の集客施設を配し、伏見地区のにぎわい創出のために貢献する施設とします。
- ・ 名古屋市の上位計画に則して、既成市街地に快適な「住」生活の永住型都市住宅を提供することにより、駅そば生活人口の増加を図ります。

3. 計画概要

事業の名称	「(仮称) 栄一丁目御園座共同ビル計画」建設事業
事業予定地の位置	名古屋市中区栄一丁目 605 番 1, 2 他
主要用途	劇場、店舗、共同住宅、駐車場
敷地面積	約 5,000 m ²
延床面積	約 60,000 m ²
階数	地上 45 階地下 2 階
高さ	約 170m
今後の予定	平成 24 年冬 環境影響評価手続き開始 平成 27 年度 工事着工 平成 30 年度 竣工

※現時点での予定であり、今後変更になる可能性があります。

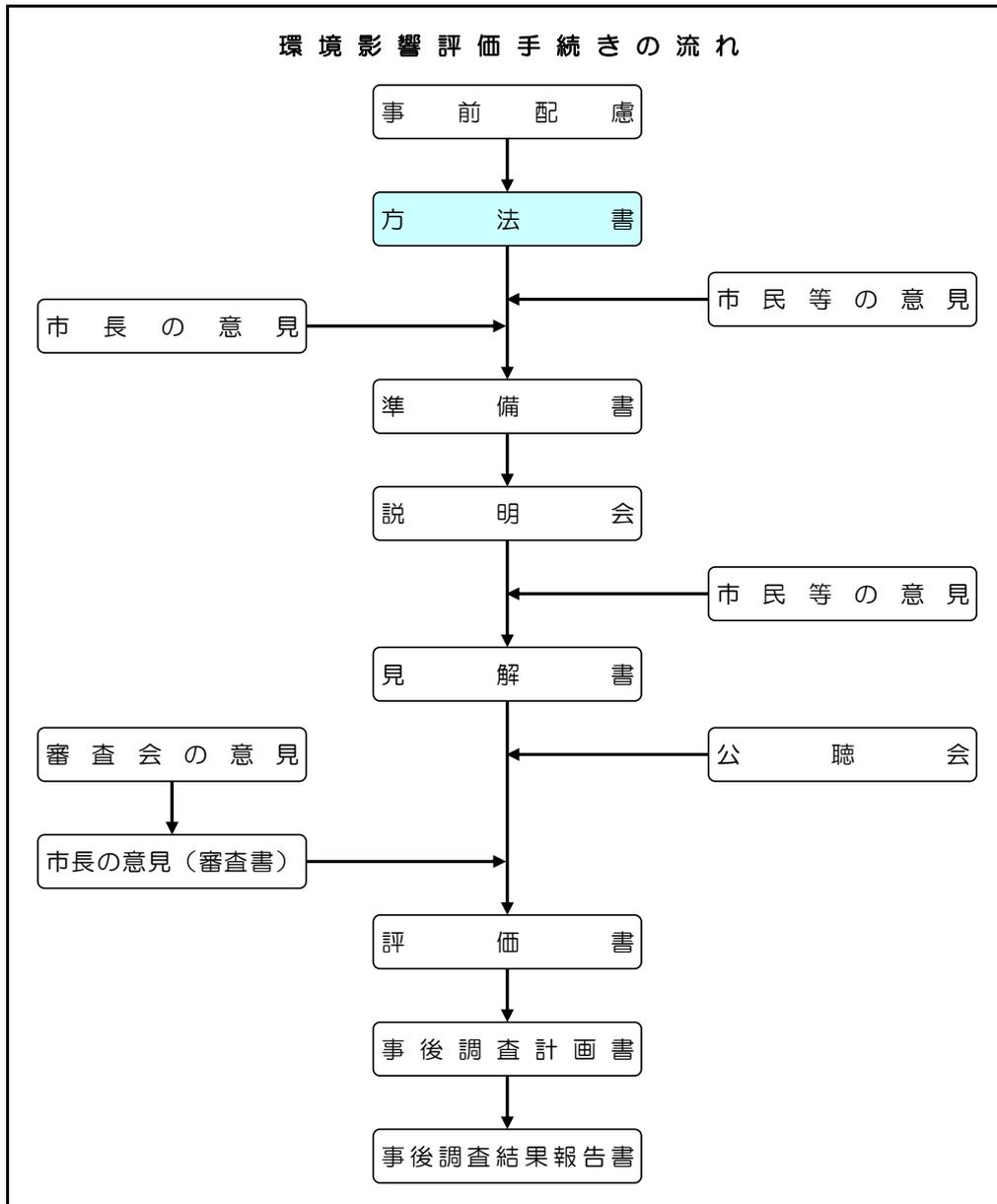
4. 計画地位置図



5. 環境影響評価制度

環境影響評価（環境アセスメント）制度とは、大規模な建築物を建設する事業等を行う場合に、周辺の環境に及ぼす影響を事業者が事前に調査、予測、評価するとともに、その結果を公表し、市民、行政が意見を出しあい計画に反映させることによって、より環境に配慮した事業にしていくことを目的とした仕組みです。

この度は当該制度手続のうち、環境影響評価（環境アセスメント）方法書を提出した段階であり、今後必要な手続を経る予定です。そのため、計画概要等につきましては確定したのではなく、今後変更になる可能性があります。



6. 今後について

当社は債務超過を解消すべく費用削減等の各種施策を実施しており、今後の公演継続に向けて各関係者との協議を継続して行っております。さよなら公演終了後の再開発期間中の公演活動の詳細については、確定次第お知らせ致します。